

療育研修会

奈良 支部

*テーマ 「治験の現状及び最新の治療について」 講師 松村 隆介

(研修の内容)

- 1、 IPS 細胞は何がすごいのか これまでの常識を覆す
2008 年アメリカのグループがデシヤンヌ型筋ジストロフィーの患者から
IPS 細胞を作製、但し再生医療として使うのには問題あり。遺伝子に異常あり。
再生医療研究では、臨床開始目標が 7 年後以降になっている。
- 2、 治験の現状は アンセンチオリゴ PRO-51 の臨床試験 12 名の患者が参加
" AVI-4658 の臨床試験 19 名の患者が参加
問題点はエクソン 51 に働きかえるタイプで全患者の 12% のみの対象との事
- 3、 アンセンチオリゴ Eteplirsen は 12 名の患者で臨床試験中 治験うまく進んでいる
- 4、 遺伝子検査の必要性 患者登録機構に登録する
- 5、 世界中で精力的に研究が行われていて、確実に前進している。
将来臨床の場で使える可能性がある。

*テーマ 「幼少患者の生活指導 進路指導について」 講師 野尻 伸司

(研修の内容)

- 1、 年齢と共に身体的機能が低下するが、家族として本人にどのように接するか。
- 2、 家族と共に生活することは家族の協力は絶対欠かせない。
- 3、 障害の程度、進行の度合に関係なく、日常生活の中で運動を取り入れる事が大切。
- 4、 精神的なフォローも重要で、規則正しい生活を送り本人を孤立させないこと。
- 5、 病気や障害の程度を認知し、家族や周りの方々の協力を得て生活するよう指導。
- 6、 将来の進路について、就業する事だけでなく、自分の好きなこと、できることや趣味を生かす事などを幼い内から指導する事。
- 7、 患者の先輩の方々が、今地域で自立をして頑張って生活しておられます。
見習う事も大事だと思います。

療育研修会実施状況

奈良支部

参加数 26

テーマ ◆治療の現状及び
最新治療について

◆ 幼少患者の生活指導
進路指導について

講師 医師 松村 隆介

教師 野尻 伸司

実施場所 奈良医療センターリハビリ棟内会議室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

再生医療と遺伝子治療に関する講演の初めは、やはり時の話題としてノーベル賞のことからスタートした。受講者の関心は非常に高く、質疑応答も多くなされた。この数年来はこうして治療についての研修が行われていること、このことこそが、昔は想像すらできなかったことであり、喜ばしいことであるといえる。

午後の交流会は、入所者と在宅者との交流の場として新鮮なものであった。この点について、今後さらに交流機会が充実し、筋ジス患者同士としての意見交換の場として活躍することを期待する

療育研修会実施状況

奈良支部

参加数 26

テーマ ◆治療の現状及び
最新治療について

◆ 幼少患者の生活指導
進路指導について

講師 医師 松村 隆介

教師 野尻 伸司

実施場所 奈良医療センターリハビリ棟内会議室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

再生医療と遺伝子治療に関する講演の初めは、やはり時の話題としてノーベル賞のことからスタートした。受講者の関心は非常に高く、質疑応答も多くなされた。この数年来はこうして治療についての研修が行われていること、このことこそが、昔は想像すらできなかったことであり、喜ばしいことであるといえる。

午後の交流会は、入所者と在宅者との交流の場として新鮮なものであった。この点について、今後さらに交流機会が充実し、筋ジス患者同士としての意見交換の場として活躍することを期待する